

# 2026（令和8）年度事業計画

公益財団法人 三菱経済研究所

## 1. 経済研究部門

### （1）経済の基礎研究を通じた学術分野への貢献

経済学の幅広い領域を対象に、理論・実証・政策など様々な分野における研究テーマの発掘に努め、学術研究に注力、その成果を経済研究書（研究論文）として広く社会に還元する（J-STAGEに全文を無償で公開）。

### （2）内外経済・産業情勢の現状と展望に関する分析

内外経済・産業情勢について、現状と展望を的確かつタイムリーに分析し、その成果を月刊誌「経済の進路」に反映、内容の一層の充実を期す。併せて、バックナンバーをJ-STAGEに無償で公開し、成果の社会への還元を強化する。

## 2. 史料館史料部門

### （1）三菱関係史料の収集、整理、保存

三菱グループ各社と連携して史料を収集し、史料の整理と書誌データの充実を図り、適正な環境下で保存することで貴重な史料の散逸や棄損を防ぐ。また、保存史料のデジタル化を継続し、史料の保存性向上と閲覧の効率化を推進する。そのため、基盤となる史料管理システム及びアーカイブシステムの更新を行う。

### （2）所蔵史料を活用した三菱及び日本の産業発展史の研究並びに成果発表

三菱及び日本の産業発展史の調査、研究体制を維持し、当研究所研究員及び所外の研究者の執筆による論文を収録した「三菱史料館論集」（2026年3月第27号）を紙媒体で発刊することに加え、J-STAGEに全文を無償で公開し、学術振興を図る。

### （3）史料の公開と三菱の歴史知識の普及

収集した所蔵史料の閲覧を供与し、広く研究に役立てると共に、外部からの史料等に関する問い合わせにも適切に対応する。

また、所蔵史料の収集や調査、研究などの成果を採り入れながら、解説書等の各種書籍、資料を作成整備頒布し、更にインターネットを通じた情報発信、見学会や研修を実施する。これらの活動を通じ、三菱の歴史知識の普及のために三菱史料館の幅広い利用に資する運営を行う。

以上